

2015-B

拠出金・基金の
名称

経済協力開発機構・開発援助委員会(OECD/DAC) 拠出金

種 別

イヤーマーク ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】経済協力開発機構(OECD)開発援助委員会(DAC)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局開発協力企画室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

DACは、「貧困者に配慮した経済成長を含む持続的開発, 貧困削減, 途上国の生活水準の向上, 及び援助に依存する国がない将来へ貢献するための開発協力と他の政策の推進」を目的とする。具体的には, 各国援助実績の公表, ODA計上方法等の援助に係る国際ルールの設定, 開発効果向上や三角協力等の取組を推進する活動を行っており, 各国からの拠出金は, これらの事務局の活動, 会議やセミナー開催及び報告書作成等に活用される。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	12,437	89		1ユーロ = 140円	100
平成26年度	12,840	100		1ユーロ = 128円	100
平成25年度	12,840	120		1ユーロ = 107円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

OECD開発援助委員会(DAC)では, 援助を取り巻く国際情勢に応じたODAの計上方法の改善や2030アジェンダの実施に向けて重要な議論が行われている。また, 近年の開発協力において, 新興国, 途上国, 市民社会, 企業等の多様な主体との連携強化が不可欠となっている。我が国の開発協力が適切に評価され, これまで我が国がDACで築いてきた国際潮流を多様な主体に浸透させていくために, DACにおける我が国の発言力を確保・強化すべく, DACに拠出する必要がある。これまで我が国の主張は, DACの決定事項(ODAの計上方法に関する議論等)や活動(「効果的な開発協力に関するグローバル・パートナーシップ」等)に反映されている。

2016年, DACは, DAC変革のためのハイレベルパネルを設置。同パネルにより, DACのあり方や効率的な組織運営に関する提言が提示される予定。